

県立精神医療センターの名取建替案

宮城県精神科病院協会

本会はかつて県立精神医療センターを応急仮設住宅跡地に建て替える案を提示したが、今回名取病院時代に農場として使用されていた土地も県立病院機構の所有地であることが判明した。この農場跡地を利用した建替案を再提示したい。

提案する病院は丘の上に建ち、近隣住宅と一定の距離を保ち、自然も豊かであり、癒やしの空間になるはずである。

難点は、

- ① センター前を走る県道258号線が片側1車線から2車線に拡張されたとき、上下線に高低差が出来、病院への出入りが一方向に限定されること
- ② 土地に高低差があること

の二点である。その解決策も含めて提示したい。

北

公園・神社

駐車場・デイケア・訪問看護ステーション

病院本体

西

東

新しい道路を造る

南

Image © 2024 Airbus

Google Earth

38° 09'36.04" N 140° 52'29.33" E 標高 34m 高度 273m







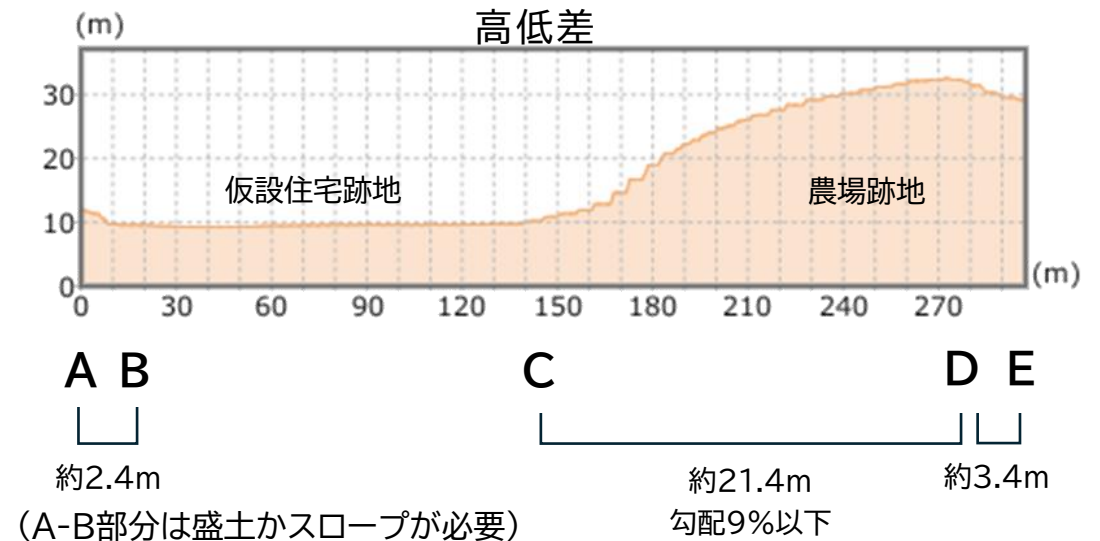
進入路と土地の高低差の解決策

現在は仙台方面から来ても岩沼方面から来ても、Yの信号から進入し、同じ道から退出している。

農場跡地に病院を建てる場合は新たに道路を造る。

- ・ 仙台方面から: Bから進入しEから退出。
- ・ 岩沼方面から: Y-Cから進入しBから退出。近隣住民が迷惑なら、X,Zから迂回してEから進入しBから退出。

仮設住宅跡地はデイケア、訪問看護ステーション、駐車場として利用する。農場跡地の一部は公園として整備し、住民や患者の憩いの場所とする。



【実は現センターでも南北に4～5mの高低差がある。】

現・精神医療センター
22,800m²

県道258号線

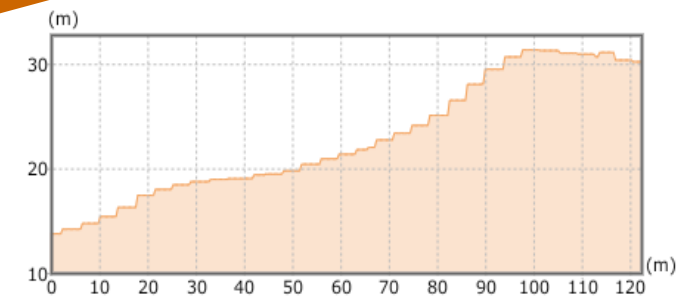
仮設住宅跡地
13,000m²

名取病院時代の“農場”
31,200m²

ここは公園
として残す

A

B



A

高低差 約17.6m

B